

＜日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携 北海道・東北ブロック会議＞

令和7年10月18日(土)ホテルメトロポリタン仙台

# 北海道医師会 医師キャリアサポート 相談窓口の取り組みについて

北海道医師会 常任理事 寺 本 瑞 絵  
(医療関連事業部 部長)  
日本医師会 男女共同参画委員会 委員

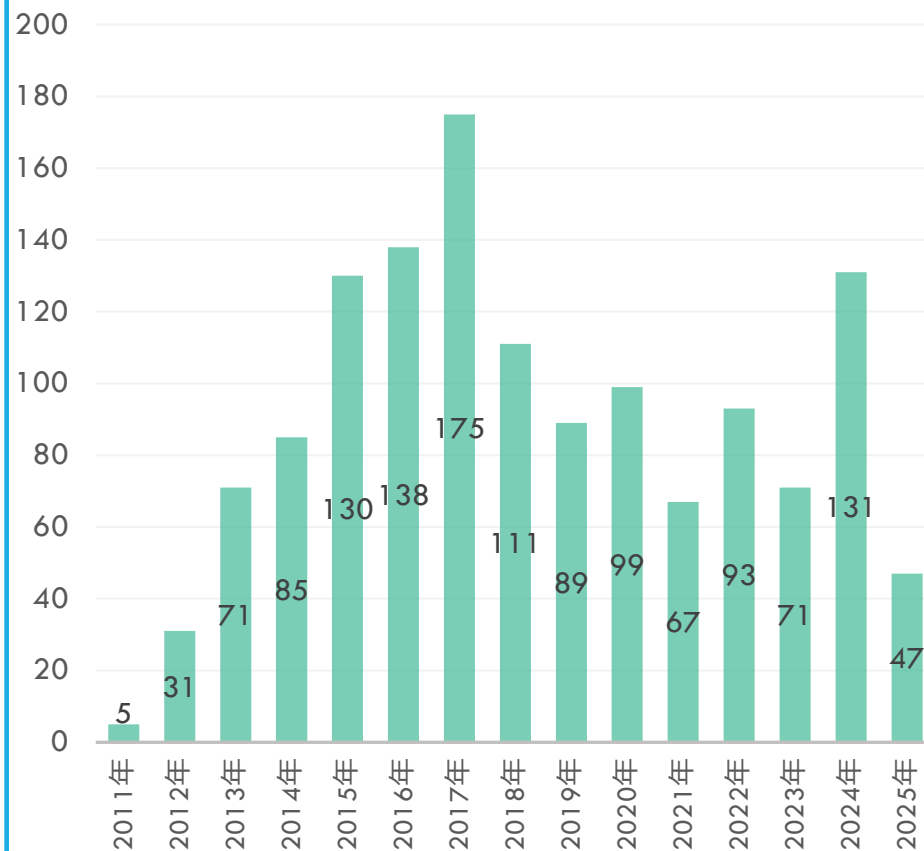
- 北海道医師会の女性医師等支援事業は、北海道の補助金を受けて、2011年6月15日に相談窓口事業を開設
- 当初は女性医師の支援を目的としていたが、名称を現在の「**医師キャリアサポート相談窓口**」に変更し、次のように支援内容を拡充している
  - ・全ての医師からのキャリア相談を受付
  - ・医師が働きやすい勤務環境の整備の支援
  - ・定年退職後の雇用継続など医師全体のライフステージに応じた支援

## 事業の柱

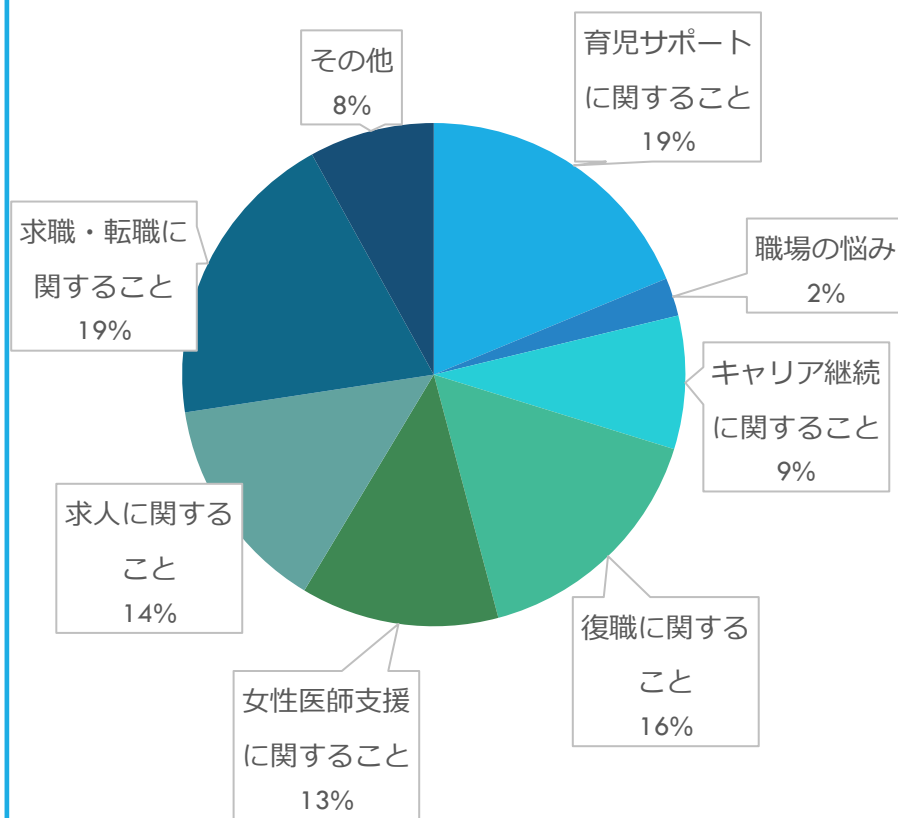
1. 育児サポート事業
2. 復職サポート事業
3. 相談窓口事業

# 2025年8月15日現在の相談実績

相談件数1,343件



主な相談内容の割合



# コーディネーターの状況

性別	男性：5名、 女性：14名
北海道医師会	役員：6名
勤務形態	開業：9名 一般病院勤務：3名 大学病院勤務：7名
勤務地	札幌：5名、旭川：2名、函館：2名、小樽：1名、 岩見沢：1名、釧路：1名、北大：2名、 札幌医大：2名、旭川医大：3名
専門診療科	内科：6名、産婦人科：2名、精神科：1名 整形外科：1名、小児科：2名、皮膚科：2名、 耳鼻咽喉科：1名、泌尿器科：2名、 基礎（解剖）：1名、脳神経外科：1名

- ★広域な北海道のどこでも対応可能とするため、札幌・函館・小樽・旭川・釧路等各主要地区に配置し、多種多様な相談に対応
- ★相談者の専門性や勤務地などを考慮して、各診療科から選出

# 相談窓口事業内容

取組内容・目的	対象者	実施月
「医師キャリアサポート相談窓口利用者との懇談会」～当相談窓口利用者相互の交流や相談窓口に関する要望を聴く機会として開催	相談窓口利用者	8月
「医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、病院長・管理者への講習会」～カスハラへの対応に関する講演やシンポジウム、相談窓口をPRする講習会として開催。医療機関の勤務環境改善によりワークライフバランスの向上を図る	病院開設者、病院長・管理者・勤務医ならびに管理職・事務長等	9月
「医学生・若手医師 キャリアデザインセミナー」～医師として働き続けるための勤務環境の整備やライフイベントを視野に入れたキャリア形成を学ぶ機会として開催	医学生、若手医師	10月
「医師の環境づくりを支援するための臨床研修指定病院訪問事業」～勤務環境改善の取り組みとして、医師キャリアサポート相談窓口事業の普及啓発を目的に開催	院長・副院長、研修医、専攻医、指導医	10月から4件予定



## 勤務医が安心して働ける環境へ

～カスタマーハラスメントから医療現場を守る～

日時 令和7年(2025年)

9/27(土) 15:00  
17:30

会場

ブランドメルキュール札幌大通公園  
2階 リーゼントホール (Web併用)  
(札幌市中央区北1条西11丁目1番地1)

参加費  
無料

対象 医師(病院長、勤務医など)、事務長など

参加をご希望の方は、裏面の申込み方法をご確認ください。

座長: 北海道医師会 副会長 鈴木 伸和

### 講演 医療機関におけるカスハラの実状と対応

講師: 北海道医療勤務環境改善支援センター 医療経営・医療労務管理アドバイザー  
公益社団法人日本医療経営コンサルタント協会 認定医療経営コンサルタント  
一般社団法人日本医療メディエーター協会 認定医療メディエーター

藤田 晃氏

### シンポジウム カスハラを防ぐための組織対応

#### 1. 病院組織全体で取り組むハラスメント防止策

講師: KKR札幌医療センター 脳神経外科  
診療部長 兼 臨床検査科部長 加藤 正仁氏

#### 2. 患者・家族からのカスハラへの対応

講師: 一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団  
札幌東訪問看護ステーション 管理者 正門まゆみ氏

#### 3. カスハラ防止対策における相談窓口の活用

講師: 北海道経済労働政策局雇用労政課長  
兼 働き方改革推進室室長 藤田栄一郎氏

意見交換 ※疑問を解決して課題を共有する

※本講習会(会場出席)は、日医認定産業医制度の基礎研修単位(後期2)生涯研修単位(更新2)ならびに日本医師会生涯教育制度(医師-患者関係とコミュニケーション)の2単位として算定できます。



お問い合わせ 北海道医師会 事業第二課 札幌市中央区大通西6丁目

TEL 011-231-1725 E-mail 2ka@m.doul.jp

■主催/北海道医師会・日本医師会

■共催/北海道・北海道医療勤務環境改善支援センター

## 医学生・若手医師 キャリアデザインセミナー

参加費  
無料

日時 令和7年(2025年)

10/3(金) 17:00  
-18:30

会場

札幌医科大学記念ホール(Web併用)  
(札幌市中央区南1条西18丁目)

- ✓ 北海道医師会の若手医師専門委員会が主体となって企画
- ✓ 今回は、道内三育大学の先生から、医療へのAIの活用、海外留学、子育てとの両立の体験談などについてご講演いただきます
- ✓ イブニングセミナーとして、会場参加者には軽食(カサント)をご用意多くの皆様のご参加をお待ちしています

### 講演内容

#### 医療DXの最前線～AIが変える診断・治療・医師の働き方～

札幌医科大学医学部 社会医学講座 公衆衛生学分野 講師 小山 雅之 先生

#### ハーバード大学T.H.Chan公衆衛生大学院

・武見国際保健プログラムでの留学

北海道医師会勤務医部会 若手医師専門委員会 委員

北海道大学大学院医学研究院 医療政策評価学 講師 阿部 計大 先生

やらないで後悔するよりやって後悔する方が良い

～いかにして両立してきたかを教えます～

旭川医科大学 復職・子育て・介護支援センター 副センター長 菅野 恭子 先生

#### 医師会事業の紹介について

北海道医師会 常任理事 寺本 瑞絵 先生

対象者 医学生・研修医などの若手医師

定員 会場:100名、Web:400名(先着順)

申込方法 Web登録フォームからお申込みください

申込期限 9月26日(金) まで



<https://x.gd/Q1tKq>  
(スマホから開く場合、1・ティ・エ・ケー  
と入力して開く) ※\_アガ-は英文字

一般社団法人北海道医師会 事業第二課

TEL:011-231-1725 メールアドレス:2ka@m.doul.jp



## 相談窓口利用者との 懇談会（WEB併用）

利用者同士の交流を促進するとともに、相談窓口に対する意見や要望を伺い、窓口コーディネーターの今後の活動や事業展開に活かす機会として開催

### 【参加者からの主な意見】

- ・子育てとの両立が大変で、助教の職を返上し、結局退職した方がいる。自分から退職を申し出た際の「もう続けられない」の言葉は、どれほど悩み、辛かったのだろうと胸が締め付けられた。
- ・子育てはひと段落したが、今年から科長に就任し病院の売り上げについて言われるようになって、ワークライフバランスを考える余裕がなくなった。
- ・大学ではコーチングに取り組んでいて、経営をどうしていくかをみんな自分事のように考え行動することにより、少し変わっていきけるのではないかと期待している。
- ・子育ての次は親の介護で悩むことになり、認知症やがん等の病気になるかも等々、心配が絶えない。
- ・血縁者が介護すると個人的な感情が入ってしまうので、介護職のプロに割り切って任せた方が良い。子どもは「親」の思い出作りや、話を聞いてあげる役に徹する方が良いと割り切っている。
- ・道外出身の医学部生が卒後に地元に戻るため、北海道に残る医師が少ないことに危機感を抱いている。さらに内科を専攻する医師が少なく、自分が高齢者になった時に診てもらえる医師がいらないのではないかと心配している。



# 医師の就労環境づくりを支援するための臨床研修指定病院訪問

## 【目的】

医師キャリアサポート相談窓口事業や働き方改革への取組みを広く知ってもらう、有効に活用していただくために、道内の研修病院を訪問し、意見交換を行う。

## 【内容】

北海道医師会の事業（医師キャリアサポート相談窓口の内容や利用方法など）や医師会加入の勧奨に係る説明。

## 【臨床研修指定病院の対象者】

管理者またはそれに準ずる立場の医師、指導医またはセンター長、勤務医、専攻医、研修医、事務長またはそれに準ずる立場の方。

## 【訪問者】

北海道医師会医療関連事業部担当役員、医師キャリアサポート相談窓口コーディネーター、（必要に応じて、地元医師会役員）

## 【当日進行例（60～90分程度）】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 報告（医師の就労環境改善）
  - ・臨床研修指定病院の取組み
  - ・北海道医師会の取組み
- 5 意見交換

※管理者や研修医等の立場から、医師の就労環境に係る課題（宿日直、働き方改革など）、将来のライフプラン、地域医療に対する考えや医師会に望むことなどを意見交換

- 6 閉会



2.市立稚内病院

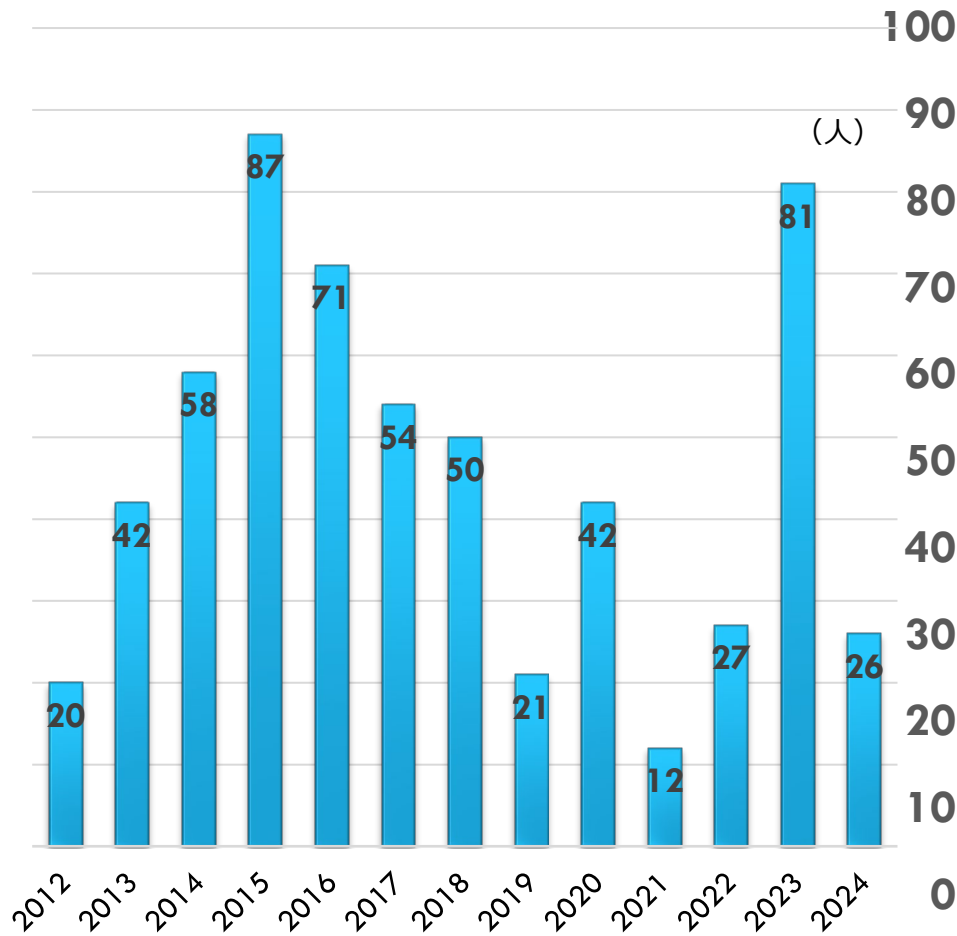
訪問の様子



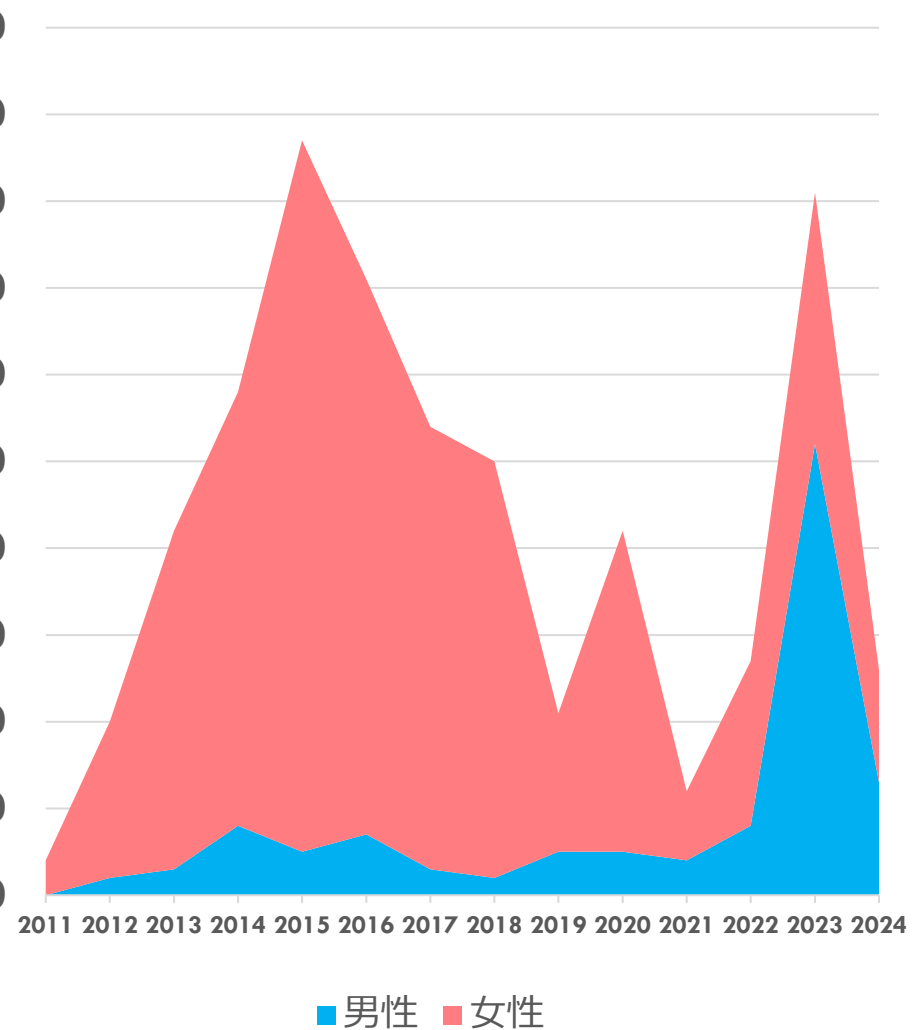
No	訪問先病院名	訪問日	訪問時間	当会からの訪問者	病院側の出席予定者
1	市立釧路総合病院	10月29日（水）	16：00～17：00	副会長・長谷部常任理事 外1名	院長・研修医
2	市立稚内病院	11月5日（水）	15：30～17：00	副会長・長谷部常任理事	院長・研修医
3	名寄市立総合病院	11月18日（火）	15：30～17：00	副会長・寺本常任理事	院長・研修医
4	小樽市内の病院調整中				



## 就職・転職相談の年次推移



## 相談者の男女比率の推移





### 【相談者の背景】

- ・ 70歳、男性医師、外科専門医
- ・ 札幌市内在住、近郊の基幹病院に常勤勤務中
- ・ そろそろ自分の時間を確保するため転職希望
- ・ 忙しい当直や通勤に都度時間がかかる職場は避けたい
- ・ 外科医だが、内科、健診、整形、療養等の基本診療が可能
- ・ 週2、3日勤務、報酬月額60万円程度を希望

### 【経 緯】

- ・ 札幌市内で当直業務が比較的落ち着いている整形外科病院を紹介したところ、整形外科の専門がなくて十分可能との求人内容であったにもかかわらず、整形外科医ではないとの理由で辞退
- ・ 週2日勤務が可能な内科クリニック、老人保健施設、内科を標榜する精神科病院等複数の選択肢を提案したが、いずれも興味を示さず
- ・ 最終的に、北海道地域医療振興財団の「熟練ドクターバンク」への求職登録も提案し、支援に向けた対応は継続中

## 2

# 専門医として就職希望から総合内科へ 進路変更した復職相談ケース

## 〔相談者の背景〕

- ・ 57歳、女性医師、病理専門医
- ・ 現在は関東圏にある大学で勤務している
- ・ 定年前に生まれ故郷の北海道に移住希望



## 〔経 緯〕

- ・ 北海道地域医療振興財団のドクターバンクに求職登録を行った
- ・ 病理医の求人登録がないため、財団より医師会に連絡があり、登録者に医師キャリアサポート相談窓口にご相談するよう勧めてもらう
- ・ 医師会の無料職業紹介事業を通じて、求人が出ていない医療機関にも直接確認を行ったが、道内の病理医は都市部・郡部ともに大学からの派遣により充足しており、常勤としての就職先は皆無であった
- ・ 相談窓口コーディネーターとの面談を行い、将来的には生まれ故郷で地域医療に貢献したいとの意向、実家に高齢の母が一人暮らしをしている状況を聞き出し、実家に近い地域で総合内科医としてのリカレント教育を受ける方向で調整をすることとなった

# ま と め

- ◆定年退職後のシルバー世代（特に男性医師）による就職相談は年々増加傾向にあり今後も継続的な支援が求められる
- ◆道外から北海道への移住を希望する医師、あるいは道外への移住を希望する医師への対応には、全国広域マッチング事業が有効であり活用が期待される
- ◆就職・転職の希望を持つ医師の中には、医師コーディネーターとの対話を通じて、当初の希望とは異なる働き方や進路を見出せるケースもある
- ◆多様なニーズに応えるためには、就職相談はドクターバンク事業が担い、リカレント教育を必要とする場合には、医師による相談事業が対応するなど、役割分担によるきめ細かな支援体制が必要